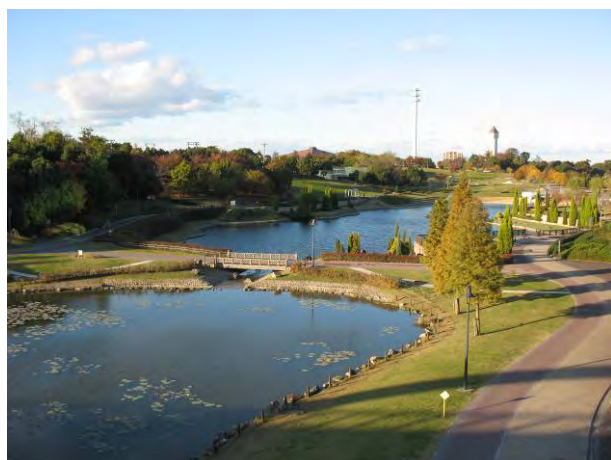
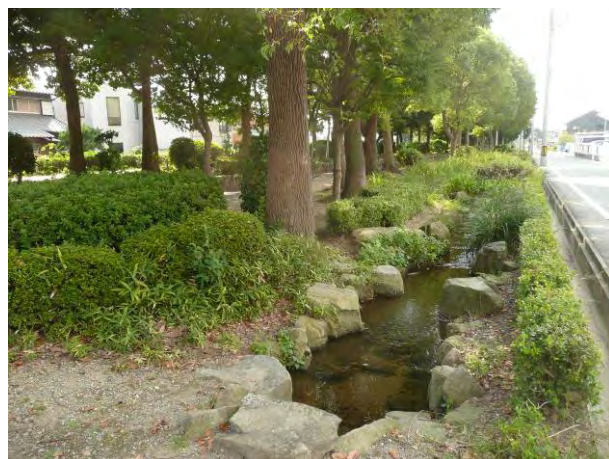


ヒートアイランド緩和対策 マニュアル(改訂版)

～ 緑や水の潤いにあふれるまち
エネルギーを無駄に使わないまちをめざして ～



平成22年3月

はじめに

近年の都市化に伴い、建物の空調設備や自動車走行などからの人工排熱の増加や、緑地や水面の減少、コンクリート構造物やアスファルト舗装による地表面被覆の人工化により、都市の気温が上昇するヒートアイランド現象が都市特有の問題となっています。

ヒートアイランド現象は、単に都市の気温が上昇するだけではなく、熱中症等の健康被害、大気汚染や集中豪雨など種々の環境影響との関連が懸念されており、原因も長期にわたる都市化やエネルギー消費の増大などの要因が複雑に関係しているため、都市という大きなスケールを考えた上での総合的な対策が必要です。また、都市における社会・経済活動に密接に関連していることから、ライフスタイルの改善も必要になります。

本県では、ヒートアイランド緩和対策の体系化を図るとともに、県民・事業者・市町村や県のそれぞれの役割を示し、都市域での快適な生活環境の維持・創出を図る目的で、平成16年12月に「ヒートアイランド緩和対策マニュアル」を作成し、対策の推進を図ってきました。

また、平成17年1月には「あいち地球温暖化防止戦略」を策定し、ヒートアイランドの緩和にもつながる対策を進めており、平成22年度に策定する新たな地球温暖化防止戦略においても、ヒートアイランド緩和対策に取り組んでいくこととしています。

本書は、平成20年度に実施した本県のヒートアイランド実態調査から得られたヒートアイランド現象の発生要因や対策の検討結果を踏まえて改訂を行ったものであり、このマニュアルを参考に、県民、事業者及び行政の各主体が、効果的なヒートアイランド緩和対策を推進していただければ幸いです。

目次

1	ヒートアイランド現象とは	1
2	愛知県におけるヒートアイランドの実態把握と要因分析	2
	(1) 県内のヒートアイランドの実態	2
	(2) 要因分析	4
	(3) 熱環境マップの作成	6
3	緩和対策	8
	(1) 人工排熱の低減	9
	(2) 地表面被覆の改善	14
	(3) 都市形態の改善	19
	(4) ライフスタイルの改善	22
	参考資料1 建物用途別のヒートアイランド対策	24
	参考資料2 ヒートアイランド対策大綱	29

